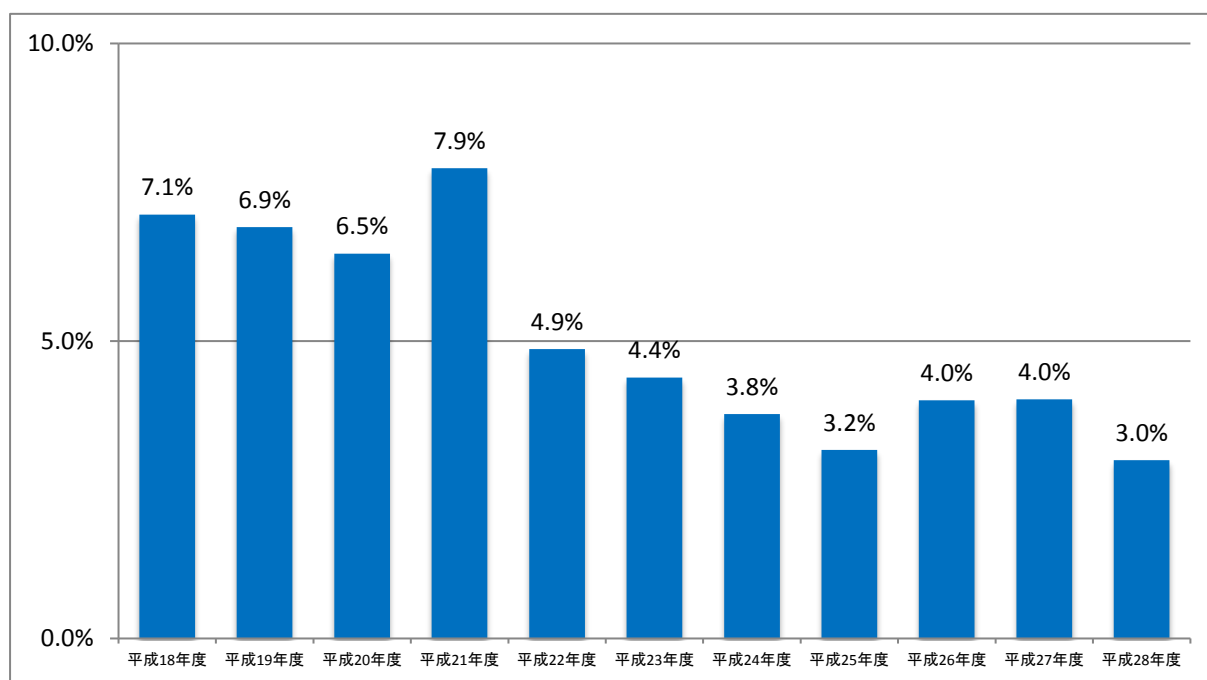


10. 剖検率



剖検率は、死亡された患者に対する病理解剖された割合を言い、剖検の結果は、その後の診療に役立つため、臨床指標の一つとされている。

しかし、剖検率は全国的にも年々減少している。その理由として、画像診断などの検査の進歩により、病状が正確にわかるようになったことが挙げられる。しかし、剖検によって、新たな事実が発見されることもあり、剖検結果はその後の診療に役立つため、剖検率は医療の質を反映しているともいえる。当院でも減少傾向にある剖検率に対する取り組みが必要である。

データ提供 医療事務部入院医事課